



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社Amazia
コード番号 4424 URL <https://amazia.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 亮輔
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 神津 光良

TEL 03-6415-3435

四半期報告書提出予定日 2024年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家及びアナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,913	△23.4	△95	—	△96	—	△96	—
2023年9月期第2四半期	2,498	△26.9	56	—	53	—	59	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年9月期第2四半期	△14.67	—
2023年9月期第2四半期	9.11	9.01

(注)1. 2023年9月期第2四半期の経常利益の対前年四半期増減率は1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

2. 2024年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	2,534	1,769	67.4
2023年9月期	2,576	1,878	70.0

(参考)自己資本 2024年9月期第2四半期 1,708百万円 2023年9月期 1,803百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	4,000 ~4,674	△14.0 ~0.5	△460 ~△373	—	△461 ~△374	—	△467 ~△380	—	△71.04 ~△57.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年9月期の業績予想につきましては、レンジ形式により表示しております。詳細は添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期2Q	6,757,800 株	2023年9月期	6,754,600 株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	180,504 株	2023年9月期	180,504 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期2Q	6,577,139 株	2023年9月期2Q	6,577,090 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は、2024年5月14日(火)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料につきましては、TDnetで本決算短信と同時に開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が属する電子書籍市場規模は、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2023」によると、2022年度の電子書籍市場規模は6,026億円と推計され、2021年度の5,510億円から516億円(9.4%)増加し、2027年度には8,000億円を超える市場に成長すると予測されており、アプリでマンガを楽しむユーザーは、引き続き増加傾向にあります。

一方で、電子書籍のビジネスモデルの多様化や成熟によって電子書籍市場が徐々に飽和していくことも想定されます。また、引き続き厳しい競争環境や世界経済の停滞及び国内のインフレが、アクティブユーザー数の伸び悩みや1人当たりの課金売上の低下をもたらしていることに加え、広告市況の悪化により広告単価が低下したため、広告収益が減少しました。

このような市場環境の中で、「マンガBANG!」の主力であるプレミアムモデルのコーナーにおいて、配信される作品の差別化を図るために、出版社との信頼関係を深化させ、先行配信や人気作品の配信数の増加に努めてきました。その結果、2023年12月下旬より、「マンガBANG!」の主力コーナーで初めて小学館作品の配信を開始しております。併せて引き続き、オリジナル作品の制作、マンガアプリの海外展開も強化しております。

また、2023年10月にWeb版「マンガBANG!」を「マンガBANGブックス」にリニューアルし、Web電子書籍市場にも本格的に参入し、アプリで培ったユーザー基盤を基に、価格面での競争力強化に努めております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は1,913,498千円(前年同四半期比23.4%減)、営業損失は95,717千円(前年同四半期は営業利益56,148千円)、経常損失は96,242千円(前年同四半期は経常利益53,525千円)、四半期純損失は96,508千円(前年同四半期は四半期純利益59,947千円)となりました。

なお、当社はマンガアプリ事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(注) プレミアムモデル：基本的なサービスはすべて無料で提供し、一部の機能を有料で提供するビジネスモデル。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は2,534,368千円となり、前事業年度末に比べ41,799千円減少いたしました。これは主に、関係会社株式が80,000千円、敷金及び保証金が60,889千円増加した一方、現金及び預金が132,395千円、売掛金が65,874千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は764,414千円となり、前事業年度末に比べ67,243千円増加いたしました。これは主に、その他に含まれる預り金が50,726千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は1,769,953千円となり、前事業年度末に比べ109,042千円減少いたしました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が96,508千円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ132,395千円減少し、1,213,347千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは9,591千円の支出（前年同四半期は23,472千円の支出）となりました。その主な要因は、売上債権の減少65,874千円、法人税等の還付額29,198千円により資金が増加した一方で、税引前四半期純損失の計上96,242千円、株式報酬費用の戻入13,974千円により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは124,214千円の支出（前年同四半期は86,530千円の支出）となりました。その要因は、敷金及び保証金の差入による支出54,071千円、有形固定資産の取得による支出40,143千円、関係会社株式の取得による支出30,000千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは1,410千円の収入（前年同四半期は28,844千円の支出）となりました。その要因は、新株予約権の行使による株式の発行による収入1,410千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2023年11月13日に公表した通期業績予想から変更はありません。

リニューアルした「マンガBANGブックス」の拡大や予定している新規事業の立ち上がり等を考慮した場合、投資家の皆様に対して、より有用かつ合理的な情報提供を行う観点から、レンジ形式による業績予想開示を採用しております。

なお、当該業績予想につきましては、公表時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

今後、業績予想に変更があった場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,345,743	1,213,347
売掛金	636,053	570,178
コンテンツ	20,386	24,331
未収還付法人税等	26,507	-
その他	125,557	126,904
流動資産合計	2,154,248	1,934,761
固定資産		
有形固定資産	79,988	115,366
投資その他の資産		
敷金及び保証金	198,361	259,251
関係会社株式	-	80,000
その他	143,569	144,989
投資その他の資産合計	341,930	484,240
固定資産合計	421,918	599,606
資産合計	2,576,167	2,534,368
負債の部		
流動負債		
買掛金	228,596	232,653
未払金	233,824	230,388
未払法人税等	-	3,207
引当金	1,480	1,775
その他	233,271	296,390
流動負債合計	697,171	764,414
負債合計	697,171	764,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	366,004	366,724
資本剰余金	362,290	363,010
利益剰余金	1,207,851	1,111,342
自己株式	△132,346	△132,346
株主資本合計	1,803,799	1,708,730
新株予約権	75,196	61,222
純資産合計	1,878,996	1,769,953
負債純資産合計	2,576,167	2,534,368

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)
売上高	2,498,280	1,913,498
売上原価	1,680,582	1,328,299
売上総利益	817,697	585,199
販売費及び一般管理費	761,549	680,917
営業利益又は営業損失(△)	56,148	△95,717
営業外収益		
受取利息	8	7
受取手数料	2,091	1,467
物品売却益	-	137
その他	23	197
営業外収益合計	2,124	1,810
営業外費用		
為替差損	4,556	820
株式交付費	30	30
支払手数料	160	-
本社移転費用	-	1,261
その他	-	223
営業外費用合計	4,747	2,335
経常利益又は経常損失(△)	53,525	△96,242
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	53,525	△96,242
法人税等	△6,421	266
四半期純利益又は四半期純損失(△)	59,947	△96,508

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	53,525	△96,242
減価償却費	1,871	4,541
差入保証金償却額	589	△6,818
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,470	295
受取利息	△8	△7
支払手数料	160	-
株式交付費	30	30
株式報酬費用	△75,767	△13,974
売上債権の増減額(△は増加)	18,753	65,874
前受金の増減額(△は減少)	20,108	△9,479
仕入債務の増減額(△は減少)	△67,882	4,057
未払金の増減額(△は減少)	△10,350	△3,436
その他	26,871	16,362
小計	△33,567	△38,797
利息の受取額	8	7
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△19,025	29,198
その他	29,111	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△23,472	△9,591
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	-	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△72,356	△40,143
敷金及び保証金の差入による支出	△14,174	△54,071
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,530	△124,214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	1,410
自己株式の取得による支出	△28,814	-
その他	△30	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,844	1,410
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△138,848	△132,395
現金及び現金同等物の期首残高	1,731,646	1,345,743
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,592,798	1,213,347

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

第1四半期会計期間において、当社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として償却を行っていた敷金について、退去時に必要とされる原状回復費用の新たな情報を入手し、見積りの変更を行いました。

この変更により、従来の方と比べて、当第2四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失が7,931千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、マンガアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント
	マンガアプリ事業
ユーザー向け	1,712,504
法人向け	785,775
顧客との契約から生じる収益	2,498,280
その他の収益	-
外部顧客への売上高	2,498,280

当第2四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント
	マンガアプリ事業
ユーザー向け	1,283,170
法人向け	630,328
顧客との契約から生じる収益	1,913,498
その他の収益	-
外部顧客への売上高	1,913,498